

2014年度事業計画

学校法人 東洋英和女学院

本学院は、キリスト教（プロテスタント）の信仰と聖書の教えに基づいて、建学の精神である「敬神奉仕」に沿った人間形成を重んじる一貫教育を行っています。

2014年度は、カナダ婦人宣教師により当学院が創設されて以来130年目に当たります。学院のこれまでの歩みの上に立ち、将来をしっかりと見据えながら、教育指導面の一段の充実を図るとともに、学院、各部の連携を一層強化し、幼稚園から大学に至る一貫教育という特色を活かす努力を続けてまいります。

各部ごとの2014年度事業計画は以下のとおりです。

1. 各部の教学計画

(大学・大学院)

《大学》

2015年度改革を実効の高いものとするため協議を重ねるとともに、校地移転についても検討を深めていく。

学習サポートセンターを設置し、入学前教育から基礎学力を高め、また就職力を高めるための学習支援活動に全力を挙げて取り組む。

キャリア就職課をキャリアセンターに改組し、学生に対する就職支援およびキャリア形成支援を充実させ、高い就職率の更なる引上げに努める。

大学宗教センターを設置し、宗教に関わる問題全般に対して、学生・教員・職員の間意思疎通と理解の充実を目的とした活動を行う。

教員の研究テーマを開示することにより、教員相互の研究テーマの高度化などに資する。

科学研究費など外部資金の導入を積極的に図る方針である。

また、全教職員を対象としたFD（Faculty Development）セミナーをシリーズで開催し、大学の将来像について検討していくほか、高等部との関係を緊密化し高大連携事業を強化する。

《大学院》

専門職社会人のリカレント教育、生涯教育カリキュラムの充実を図り、入学者増への努力を行う。

具体的には、人間科学研究科では2015年度より臨床心理学領域を専攻として独立させることを決定しており、これも踏まえて教育内容の充実を図る。また、国際協力研究科では引続き公開シンポジウム等の企画などにより地域貢献・社会貢献の強化を推進する。

(中学部・高等部)

毎朝守る礼拝や修養会などの諸行事を通して、学院に受け継がれてきたキリスト教教育を継続するとともに、建学の精神の継承を図る。

カリキュラムのさらなる充実を図り、少人数授業やグレード別授業を積極的に推進し、選択教科を充実させて多様な進路選択に応える。あわせて、中高一貫教育のより一層の推進と夏期の補習講座・受験対策講座の拡充を図る。

各教科とも、シラバスに基づき質の高い授業を推進する。特に英語では、中学1年生から多読プログラムを導入し、高等部では小説を読み、エッセイを書き、プレゼンテーションをすすめる中で英語での自己表現力をつける。

教員の授業力向上のため、研修体制の充実を図る。教授型の授業形態のみならず、生徒がより主体的に授業に参加し、自ら考え発言できるような授業形態の導入を積極的に図る。小学部との関係、および大学との関係を緊密化し、高大連携事業を強化する。

クラブ活動必修制を維持し、心身の健全な成長を促すとともに、学校行事や野尻キャンプサイトでの夏期行事などを通して生徒の自主的な活動を育成する。また、ピアノ科をはじめとする課外教室の充実にも努め、生徒の多様な活動を奨励する。さらに、夏期カナダ語学研修・春期アメリカ語学研修に加えて、海外協力校との間で短期留学プログラムを開始する。また、留学生受け入れにより国際交流活動を積極的に推進するとともに、グローバル教育の具体的実施に向け研究を進める。

(小学部)

小学部のすべての活動が、「敬神奉仕」の具現化を目指すものであることに努める。

私学ならではの特性を生かした、専門性と質の高い教育を目指すため、各教科の充実に努め、一人ひとりの児童に応じた学習の動機づけのもと、それぞれが持っている力を向上させる。

小学部の特色である追分寮での宿泊体験活動、韓国梨花女子大学附属初等学校などとの国際交流教育、聖歌隊・ハンドベル等の有志参加活動、ピアノ科・オルガン科などの課外活動、東日本大震災被災支援その他の社会貢献活動を積極的に推進する。同時に小学部の教育をより多くの方々に理解いただくため、積極的な外部発信を図る。

(東洋英和幼稚園)

「敬神奉仕」の建学の精神を具体化し、園児の一人ひとり異なる賜物を尊重し豊かな心の成長を支える保育を実践していく。

東日本大震災の被災者・バングラデシュの子どもたちへの支援をさらに深化させていく。

保育者の専門性を深め保育の質の一層の向上に努めるため、キリスト教教育や保育理論を学ぶ研修を継続する。

幼稚園創立100周年を記念し、記念誌を作成するほか、記念礼拝やホームカミングデーを実施する。

(大学付属かえで幼稚園)

2015年度から施行される「子ども・子育て支援新制度」を念頭に置き、地域に根差すキリスト教幼稚園として保護者とともに歩む質の高い保育に一層の努力をする。

大学の付属園として大学と連携し、保育者の養成に寄与する。

地元自治体および幼稚園協会との連携を図り、地域での子育て支援に協力する。

2. 各部の環境整備計画

(大学)

教育環境の一層の充実を図るため、大学ネットワークシステムの全面更改を完成させるほか、経年劣化した空調機などを省エネ機器等に更新する。図書館については、システム更新・館内学習室改装などにより利用環境を向上させる。

(中学部・高等部)

教育環境のより一層の充実を図るため、抗菌・殺菌機能などの高い設備を使用し家庭科調理室を全面改修するほか、体育館空調機更新、西側校舎トイレ改修などの給排水衛生関連設備の工事などを実施し、省エネ・省資源を推進する。また、校内緑化工事を進め、植栽等の整備と合わせ熱射病対策にも配慮する。

また、野尻キャンパスサイトでは、安全面の強化に努め、護岸工事のほか、監視カメラレコーダーの設置工事などを実施する。

(小学部)

パソコン更新などによりIT環境の整備を実施するほか、中央監視装置や監視カメラレコーダーの更新によりセキュリティの更なる向上を図る。

厨房機器の交換により、質の高い給食提供を実現する。

(東洋英和幼稚園)

2015年度より予定している女児の三年保育開始のため、園舎の増改築工事を実施し、より豊かな保育環境を実現する。

(大学付属かえで幼稚園)

園舎の一部改修工事を実施する。また、屋外温水器設置など各種衛生給排水工事を実施するほか、遊具の安全性を向上させる。

3. 管理運営計画

急激な環境変化の下で、当学院の各部門が社会の要請に対応しつつその使命を全うしていくための基盤を保持するため、管理運営面で、以下の課題に重点を置き取り組む。

1. 当学院の将来像を展望しつつ、六本木五丁目西地区市街地再開発など学院の将来に係る中長期的課題について、検討作業を推進する。
2. 日常の広報活動および東洋英和楓の会の活動等を通じ、全ての学院関係者と学院の関係を強化する。また、東日本大震災の被災地支援に引続き取り組む。
3. 教職員が一段の能力向上を図り、働き甲斐を感じる事が出来るよう、良好な執務環境を確保するとともに、給与処遇制度の改善を検討する。
4. 法令、規程に基づき適正に事務を遂行し、とくに補助金、科学研究費など公的資金を財源とする研究費については、法令等に基づき適切な管理運用を図る。
5. 取引先との既往契約を合理性・効率性の観点から見直し、大口契約を中心に競争見積り合せを実施すること等により、予算の適正かつ効率的な執行を図る。また、効率的、合理的な事務運営を図ることを目的とし、収益事業法人の設立を検討する。
6. 安全性と収益性の両面に配慮した資産運用を行ない、学院の財務基盤の充実を図る。

以上